

J Rの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。info@doro-shien.site

沿線住民
切実な声

久留里線の存続を

「久留里線と地域を守る会」 第2回 定期総会



「沿線地域交通検討会議は、久留里線の問題を非公開で密室で行っている。」と訴えもありました。

「久留里線の存続へ力尽くそう」

5月26日、久留里線と地域を守る会は第2回定期総会を開催しました。沿線住民や地域の議員など90人が集まりました。

小学生統廃合により久留里で学童保育を行っている女性から「学童保育が終わって久留里線を使って帰る子がいる。久留里線がなくなったら地域の子ども達の絆が壊れてしまう」との訴えもありました。

【久留里線と地域を守る会定期総会での発言より】

●亀山地区自治会代表

「地元で『久留里線を考える会』を開催してきたが『存続』の声が多くなってきた。とくに『物流2024年問題』の関係で鉄道を残した方がいいとの声もある」

●久留里で学童保育を行っている女性

「学童保育が終わって久留里線を使って帰る子がいる。久留里線がなくなったら地域の子ども達の絆が壊れてしまう」

【東京都立大学の山下祐介教授の講演より】

●そもそもなんのための国鉄分割・民営化だったのかが問題だ。

●過密（東京）対 過疎（地方）の構図は必ず生まれる。過疎で儲からないからといって鉄道を切り捨てるのでは問題は解決しない。次の過疎が生まれるだけだ。過疎（地方）が過密（東京）を支えているとの認識が必要だ。

●問題は、経営側（J R）に「選択と集中」の意図があり、該当する地域（久留里線沿線）の人達があきらめて、自ら放棄する道を選ぶように仕向けている。グレーゾーンはない。

方消滅』に惑わされることなく、久留里線存続に力を尽くす」とのアピールを確認。
東京都立大学の山下祐介教授が「久留里線を誰のために残すのか」と題して講演。「過疎で儲からないからと鉄道を切り捨てるのでは問題は解決しない。次の過疎が生まれるだけ。過疎が過密を支えているとの認識が必要」と訴えました。